

# 議会報告会報告書

開催日時	平成25年4月26日(金) 午後7時00分～8時30分	
開催場所	浦賀コミュニティセンター	
出席議員	代表者	山本文夫
	司会者	大野忠之
	報告者	大村洋子、山城保男、嘉山淳平、井坂新哉
	記録者	ねぎしかずこ
参加人数	24名	
報告内容	<p>(質問・回答)</p> <p>Q (平成25年度予算で) 谷戸地域住環境対策事業費が削られたのは、非常に残念。なぜ谷戸対策を図らないのか。</p> <p>A 地元ではなく東京の不動産業者を使って進めようとする手法などやり方に問題があった。決して谷戸のことを考えていないのではない。今後も谷戸対策は論議していく。</p> <p>Q 浦賀ドックの跡地問題は、魅力ある浦賀にするために、大きな問題であり、どうにかならないのか？</p> <p>A 浦賀地区再整備事業のプロジェクトで検討はしているが民間の土地であり、厳しい問題ではあるが、議会で検討し、後日ホームページで回答したい。</p> <p>Q 新港埠頭株式会社の管理体制の変更は議会に伝わっているのか？</p> <p>A 会社の解散について議案が市長から示された。6月に正式に解散し、その後の受付業務は市が直営でやり、警備は管理会社に委託して行うことになった。</p> <p>Q 自治基本条例は否決されているのに、なぜ予算を付けたのか。</p> <p>A 条例関係の予算は削除(21万8千円=自治基本条例の説明会の開催と出前トークの実施)したが、自治の推進そのものは必要と考え、この部分のみ減額修正とした。</p> <p>Q 原子力艦に対する防災対策はどうなっているのか。</p> <p>A 国の防災対策として決めなければならないことになっており、具体的にどうするかというのは、これからという状況だ。</p> <p>(意見・要望等)</p> <p>Q YRPで働いていたが、今は別の仕事をしている。YRPの各経営体の企業が縮小、撤退してしまいう可能性がある。雇用や、あてにしているYRP外の地域経済への影響など、考えているのか。仕事が無くなれば、市の定住人口も減ってしまう。</p> <p>A 今後のYRPをどうしていくのか、後日、ホームページでの回答としたい。議会としても注視していく。</p>	

横須賀市議会議長 様

平成25年5月10日

上記のとおり報告します。

代表者 山本 文夫